

区分	専門基礎分野	単位	1単位
科目名	病態生理学Ⅳ	時間数	30時間
講師名	非常勤講師	履修学年	2年次
概要	疾患（運動器、内分泌、アレルギー・自己免疫、乳房）の本態とその治療・検査について学び、病変が生体の諸機能に与える影響を理解する。		
学習目標	1. 運動器、内分泌、アレルギー・自己免疫、乳房系の主要な疾患・病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置が理解できる。 2. 病変が生体の諸機能に与える身体症状が理解できる。 3. 疾病を持つ患者の身体的アセスメントができる基礎的知識を習得できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	内分泌器官の構造と機能	講義	
2	内分泌疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置 甲状腺疾患（バセドウ病・クレチン病・橋本病）	講義	
3	内分泌疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置 腫瘍（下垂体腫瘍・甲状腺癌）	講義	
4	内分泌疾患の病態生理と主な症状・主な検査・治療・処置 副腎疾患（アルドステロン症・クッシング症候群・アジソン病）	講義	
5	免疫とアレルギーの基礎知識 膠原病の基礎知識	講義	
6	膠原病の病態生理と主な症状・主な検査・治療 （関節リウマチ・全身性エリテマトーデス）	講義	
7	膠原病の病態生理と主な症状・主な検査・治療 （多発性筋炎・シェーグレン症候群ベーチェット病等）	講義	
8	乳房の構造と機能、病態生理、乳房の疾患の症状と病態生理、診察・検査・治療	講義	
9	運動器の構造と機能、運動器の症状と病態生理	講義	
10	運動器疾患にかかわる診察・検査・治療	講義	
11	運動器の疾患と診療 {外傷(骨折)総論、外傷各論：骨折・捻挫・打撲}	講義	
12	運動器の疾患と診療（脱臼、筋・腱・靱帯・神経損傷、神経疾患・脊椎疾患）	講義	
13	運動器の疾患と診療（四肢の疾患、感染性の疾患、リウマチ性疾患）	講義	
14	運動器の疾患と診療（代謝性骨疾患、先天性疾患、腫瘍）	講義	
15	まとめ/試験	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 成人看護学⑪ 運動器 メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 成人看護学⑧ 内分泌・栄養・代謝 メヂカルフレンド社			
新体系看護学全書 成人看護学⑨ 感染症・アレルギー・免疫・膠原病 メヂカルフレンド社			
新体系別巻 臨床外科看護学Ⅱ メヂカルフレンド社			
成績評価の方法			
筆記試験100％（内分泌疾患 30％、アレルギー・自己免疫疾患 20％、運動器疾患 50％）			
備考			
15回全て合同講義			
状況により講義順番の変更あり			